

第1回

こども未来拠点施設整備 基本構想検討懇話会

こども未来拠点施設整備基本構想の策定に向けて

令和8年8月24日
金沢市



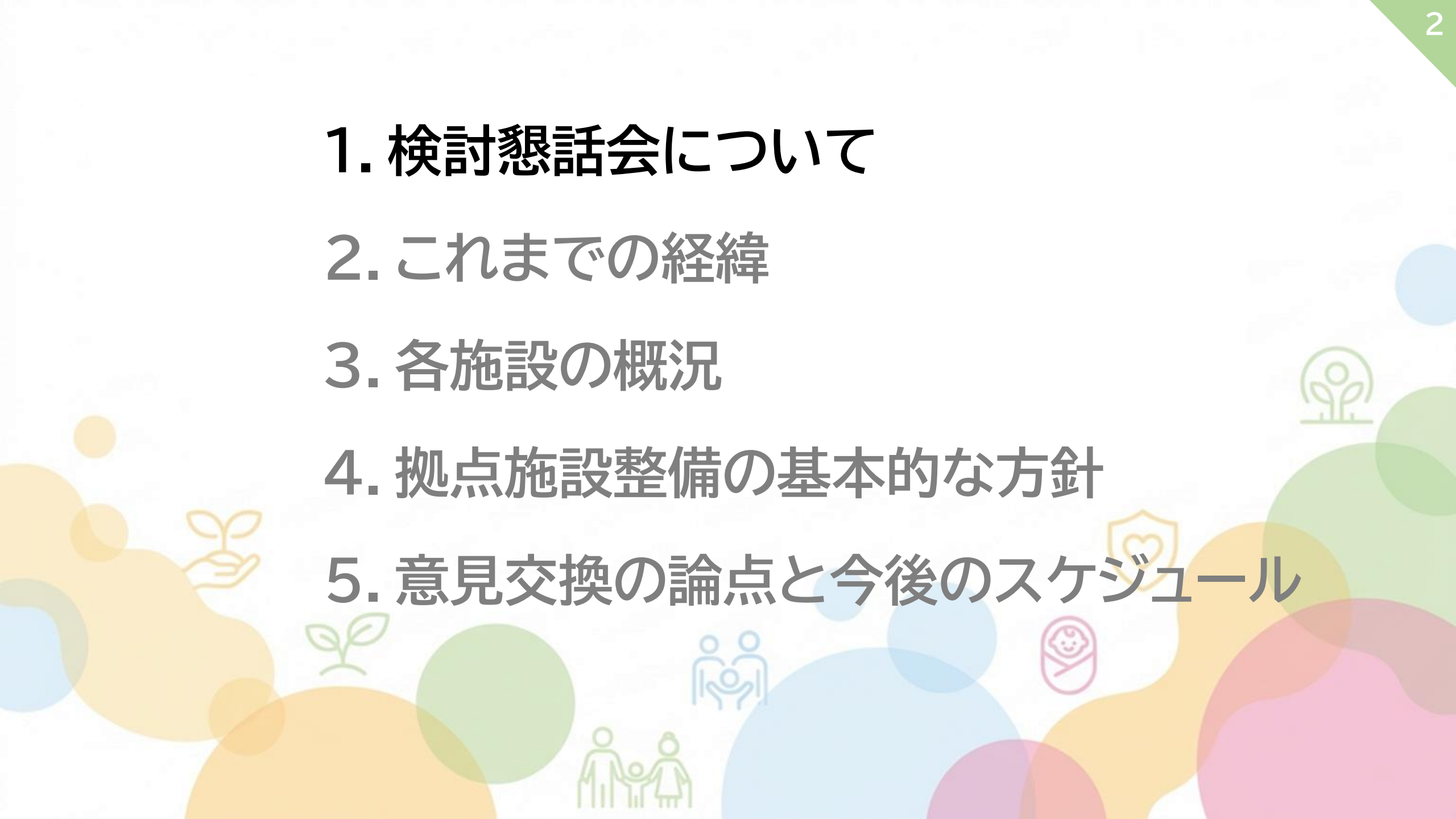
1. 検討懇話会について

2. これまでの経緯

3. 各施設の概況

4. 拠点施設整備の基本的な方針

5. 意見交換の論点と今後のスケジュール



1. 検討懇話会について

こども未来拠点施設整備基本構想検討懇話会

(1) 設置の目的

老朽化した三馬保育所と教育プラザ富樫を移転し、子育て支援機能の強化や多世代交流機能を付加した拠点施設の整備に向けた基本構想を策定するため、有識者や地元関係者等で構成する懇話会を設置

(2) 主な検討内容

- 拠点施設の基本理念
- 拠点施設に必要な機能
- 施設へのアクセスや歩行空間など周辺環境の機能向上 など



今後の具体的、技術的な検討の基礎となる方針を基本構想(案)としてとりまとめ

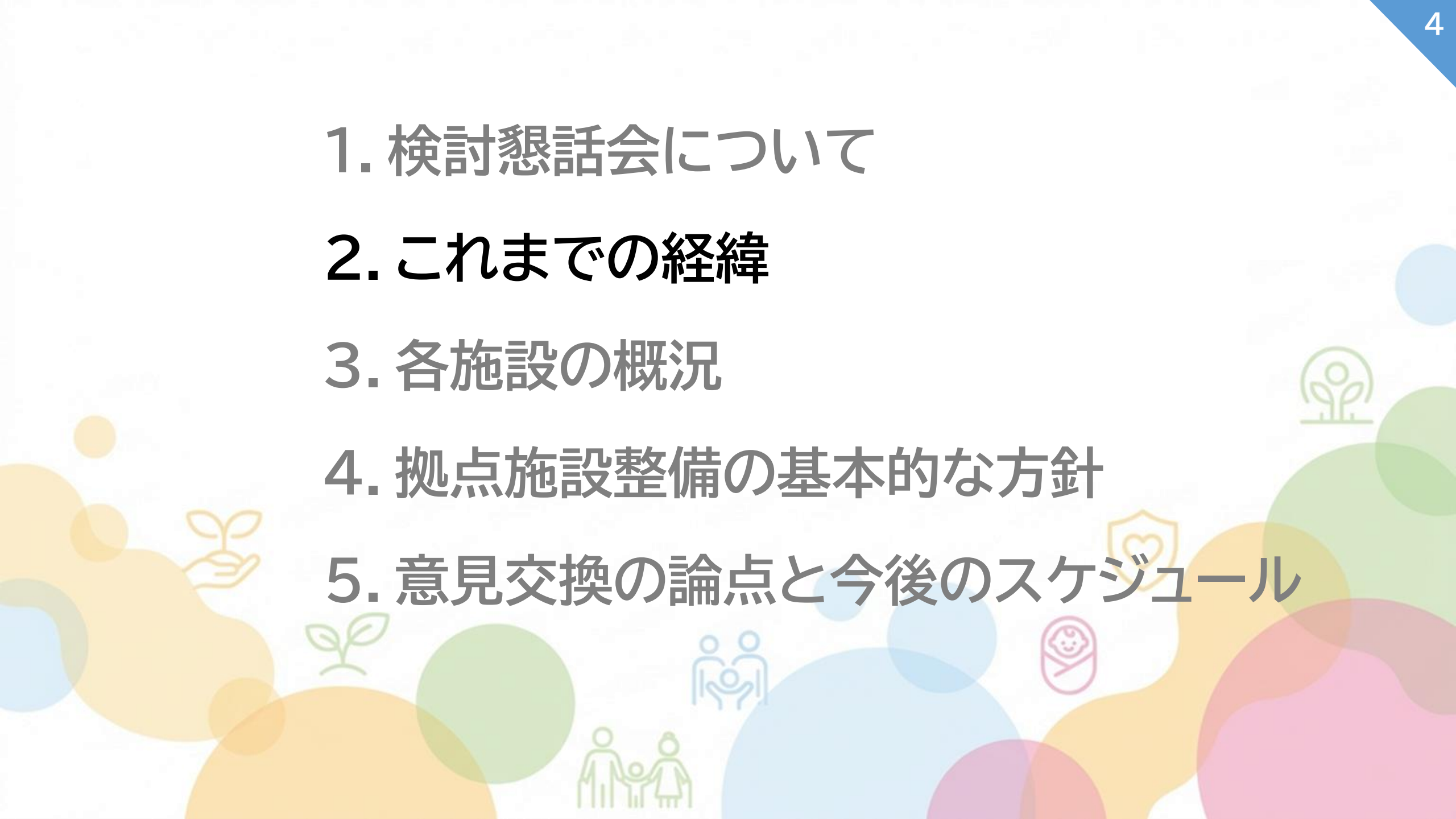
1. 検討懇話会について

2. これまでの経緯

3. 各施設の概況

4. 拠点施設整備の基本的な方針

5. 意見交換の論点と今後のスケジュール



2. これまでの経緯

南部地区教育・福祉施設再整備基本構想(令和7年2月策定)

南部地区に所在する三馬小学校、三馬保育所及び教育プラザ富樫は、いずれも建設後50年以上が経過し、老朽化が大きな課題となっているため、最も効率的な施設配置など再整備の方向性を示す構想を策定



三馬小学校

- 建設後50年以上が経過している。
- 現地建替えの場合、仮設校舎をグラウンドの大部分に設置する必要があり、児童の教育環境に大きな影響が生じる。



三馬保育所

- 建設後50年以上が経過している。
- 市立保育所の再整備に関する基本方針(令和2年度)において、生活道路に面し、人身事故が発生する危険性が高い立地であることから、移転を考慮することとされている。



教育プラザ富樫

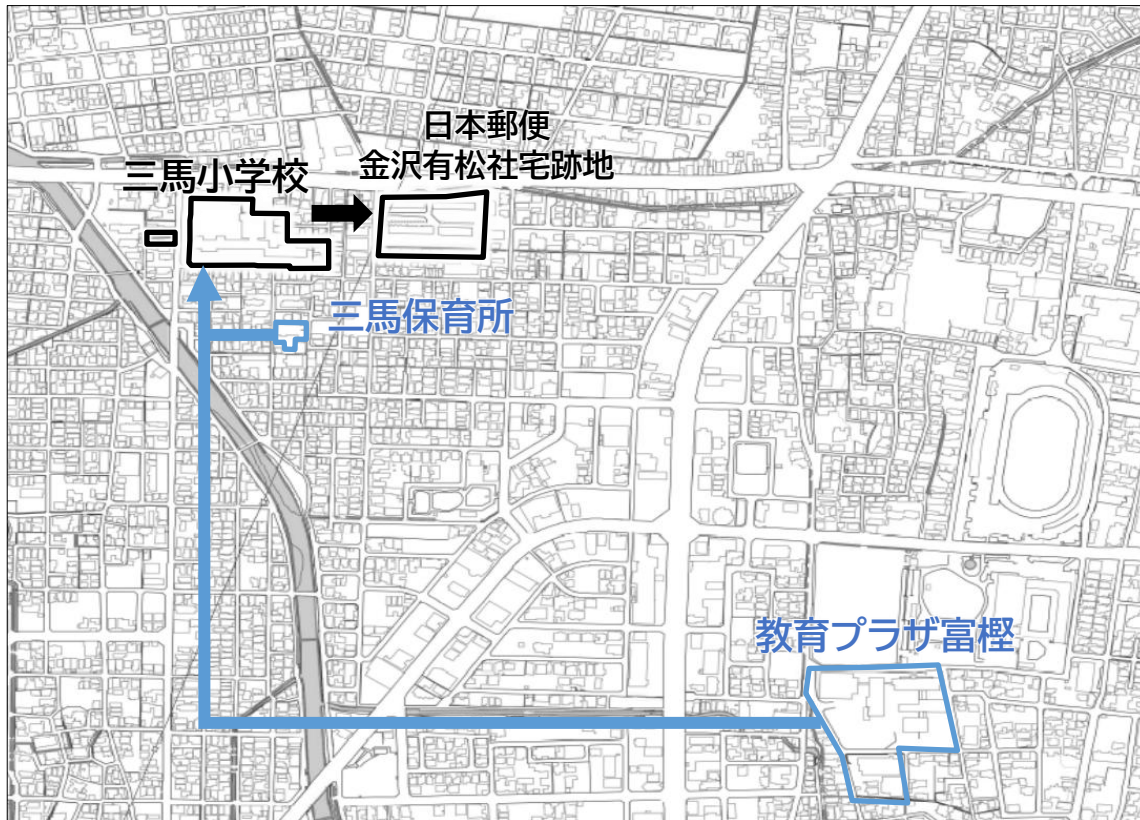
- 最も古い建物で建設後60年以上が経過している。
- 不登校や不適応・発達障害など環境の変化に細心の配慮が必要な児童生徒の受入も行っており、現地建替えの場合、これらの児童生徒が過ごす環境に大きな影響が生じることから、困難である。

2. これまでの経緯

南部地区教育・福祉施設再整備基本構想(令和7年2月策定)

南部地区教育・福祉施設再整備基本構想の概要

- ①日本郵便金沢有松社宅跡地に三馬小学校を移転整備
- ②移転後の三馬小学校用地に、三馬保育所と教育プラザ富樫を一体的に移転整備



<想定されるスケジュール>

年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
施設	場所									
三馬 小学校	日本郵便 金沢有松 社宅跡地	全体基本構想	基本設計	実施設計	建設工事 ↔			供用開始		
三馬保育所 教育プラザ 富樫	三馬 小学校 用地		検討調査	構想・計画	基本設計	実施設計	建設工事 ↔			供用開始

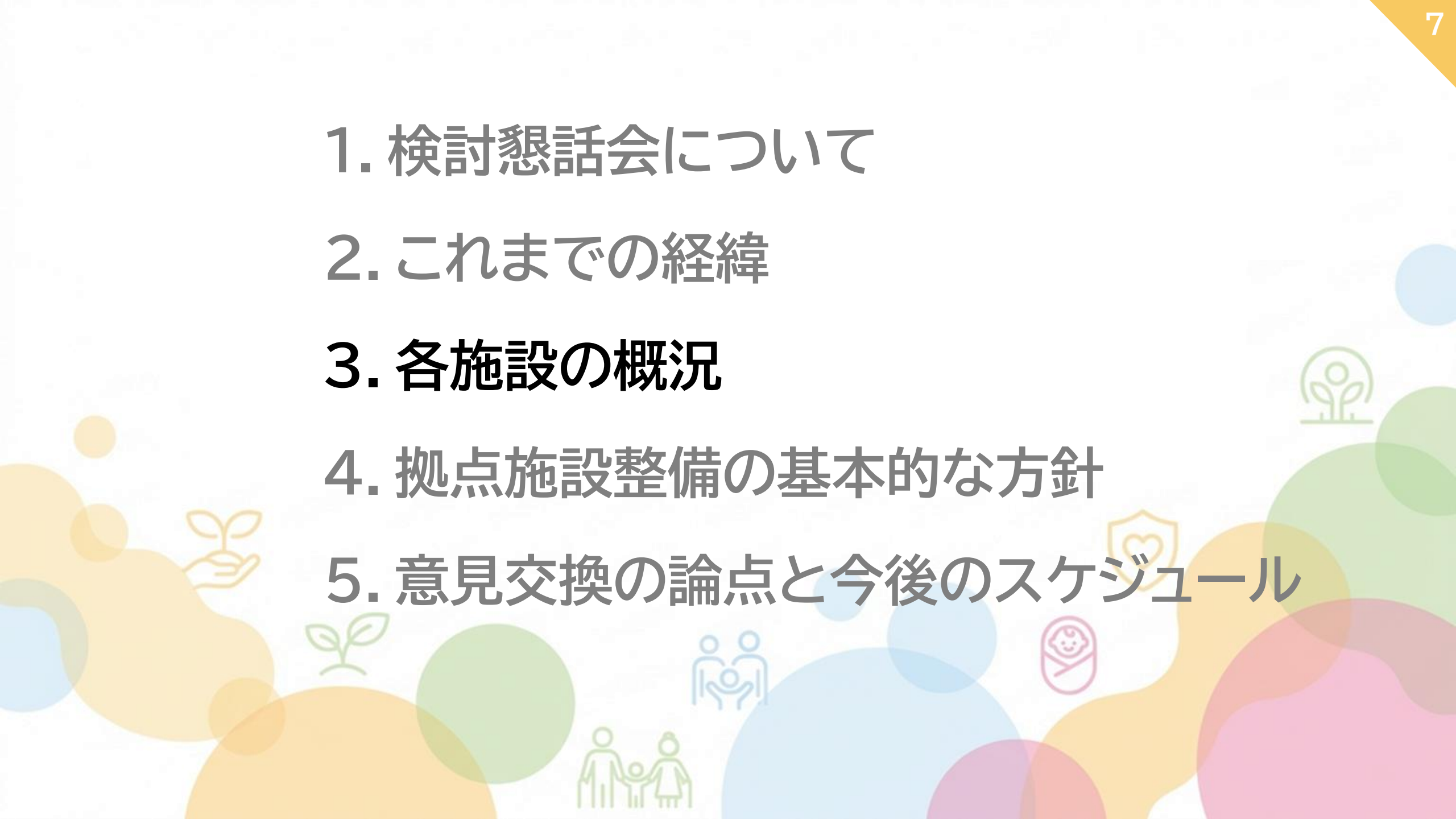
1. 検討懇話会について

2. これまでの経緯

3. 各施設の概況

4. 拠点施設整備の基本的な方針

5. 意見交換の論点と今後のスケジュール

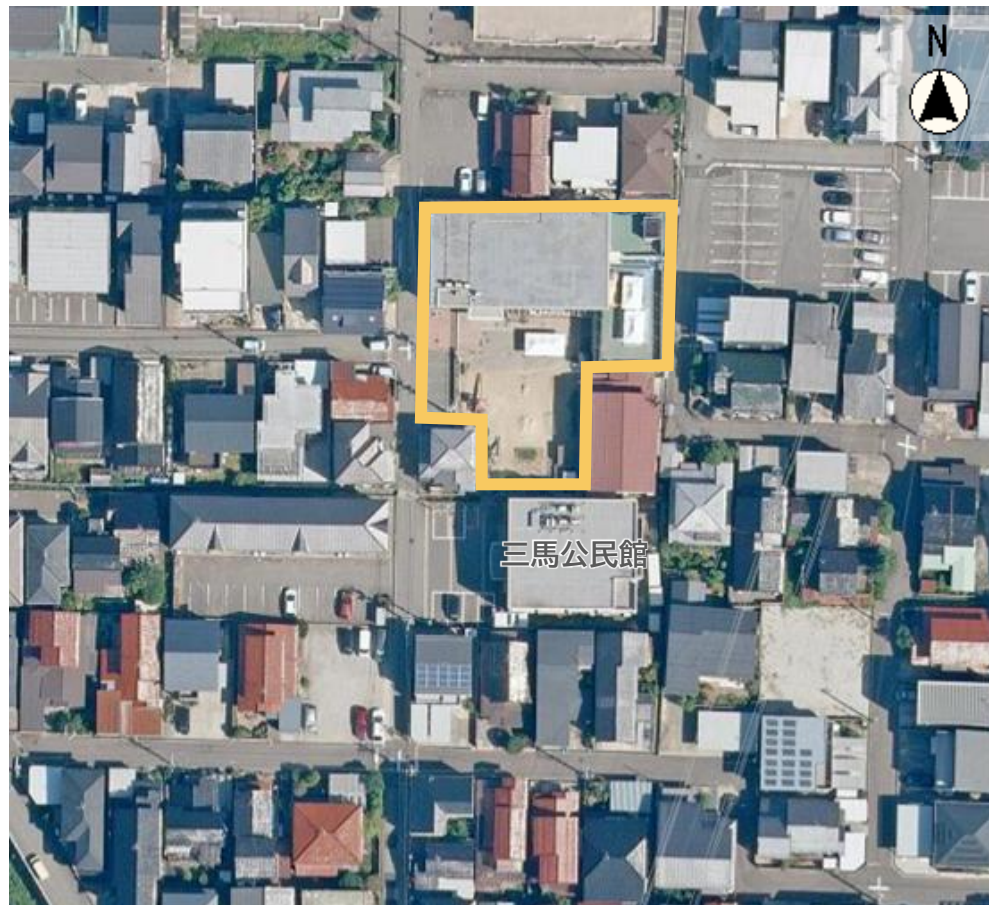


3. 各施設の概況

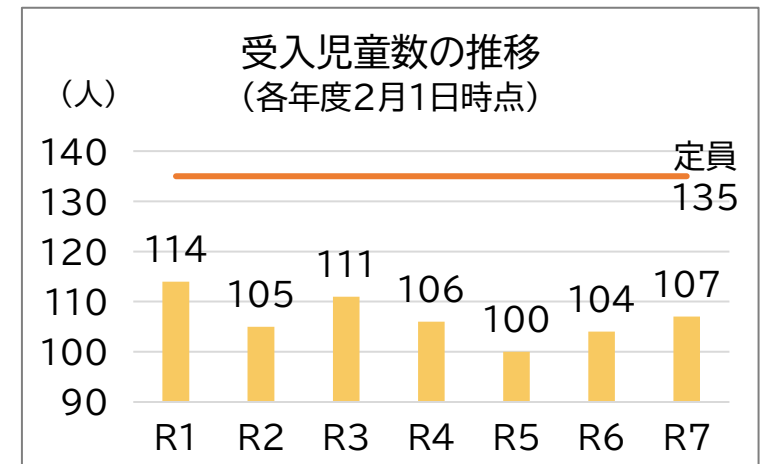
三馬保育所

市立保育所11施設のうち、建物の建築年次が最も古い保育所
現在の受入児童数は、市立保育所では森本いろは保育所に次いで2番目に多い。

施設概要



所在地	久安6丁目83番地
敷地	面積:約1,300㎡（うち園庭約430㎡）
建物	構造:鉄筋コンクリート造 延床面積:約850㎡ 竣工年月:S45(1970)年3月
所管部署	こども未来局保育幼稚園課



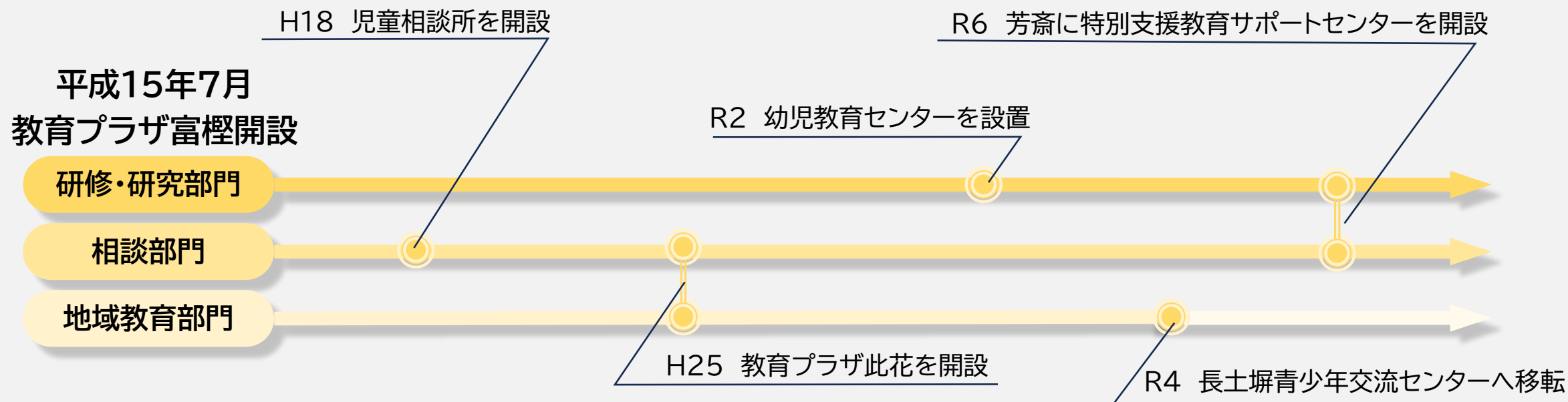
3. 各施設の概況

教育プラザ富樫

子どもの幸せと健やかな成長を図るための社会の役割に関する条例(平成13年条例第73号)の理念に基づき、教育と福祉が連携を図り、こどもたちの健全な育ちを一貫して推進するための拠点施設

(1) 教育プラザ富樫のあゆみ

こどもや教育を取り巻く環境の変化に対応し、
施設の拡充及び機能の強化を図りながら、より連携を深め、取り組みを推進



3. 各施設の概況

教育プラザ富樫

(2)施設概要



所在地 富樫3丁目10番1号

敷地 面積:約18,800㎡

建物 構造:鉄筋コンクリート造
延床面積:約12,300㎡

所管部署 教育委員会学校教育センター

棟	延床面積	竣工年月
1号館	約3,500㎡	S49(1974)年 3月
2号館	約2,400㎡	S37(1962)年10月
3号館	約1,400㎡	S37(1962)年10月
親子ふれあい館(4号館)	約 700㎡	S35(1960)年12月
5号館	約1,900㎡	S62(1987)年 4月
6号館	約 900㎡	H21(2009)年 3月
体育館	約1,500㎡	S47(1972)年 6月

3. 各施設の概況

教育プラザ富樫

(3) 主な施設及び機能

学校教育センター(1～3号館)

市立小・中・高等学校の教職員の資質向上のための研修の実施並びに不登校や発達に関する教育相談、不登校の小中学生が通室する教育支援センターの運営等

○教職員研修機能

- ・ティーチャーサポートセンター
- ・学習教材ライブラリー 等

○教育・発達相談機能

- ・教育支援センター「そだちFriendship／Personal／Link」
- ・教育相談室 ・総合相談窓口 等

○子育て支援機能

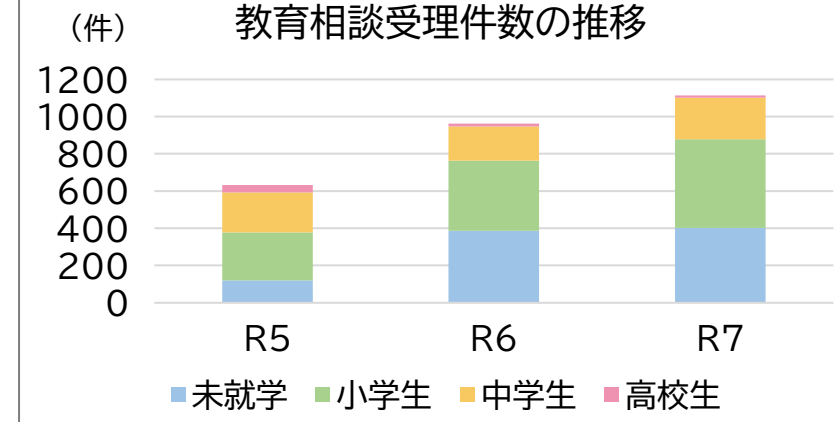
- ・子育て広場「ぞう」「こあら」の運営 等



令和7年度教職員研修実績

種別	講座数	受講者
・人材育成 ・授業力の向上 ・重要課題への対応 ・専門的知識技能の向上 ・個別支援型研修	161講座	延べ 8,723人

教育相談受案件数の推移



3. 各施設の概況

教育プラザ富樫

(3) 主な施設及び機能

幼児教育センター(3, 4号館)

幼児教育・保育の質の向上をめざし、幼保小の接続強化や人材の育成に関する研究・研修を行うとともに、発達段階に応じた育児・保育を支援

○幼児教育・保育職員研修機能

- ・幼児教育・保育職員研修

○幼児・発達相談機能

- ・幼児相談室 ・子育て情報案内ルーム

○子育て支援機能

- ・ファミリーサポートセンター 等



令和7年度幼児教育・保育職員研修実績

種別	講座数	受講者
・保育マネジメント ・障害児保育 ・小学校との接続 など22種	58講座	延べ 2,261人

富樫幼児相談室通室人数の推移



こども相談センター(5, 6号館)

育児や発達に関する悩み、養育に関する不安、児童虐待など、こどもに関するあらゆる相談に専門のスタッフが対応、総合的な支援を実施

○児童相談所機能



3. 各施設の概況

教育プラザ富樫

(4) その他付帯機能

研修室等(1～4号館)



教職員、幼児教育・保育職員の研修や会議のほか、こどもの健全な育成を図るための活動の場として貸出

- ・スタジオ(2室)・・・体操や音楽などの実技
- ・研修室(10室、最小8名～最大150名)・・・研修、会議、講演交流会など
- ・活動交流室「りす」・・・乳幼児と保護者の実習や交流会など
- ・調理実習室
- ・こども情報室(現在は月の石の展示室として使用)

体育館



教育支援センター「そだち」等の活動で使用しているほか、こどもの遊び場として中学生以下のこどもや、地域スポーツ団体等に開放

時間帯	平日	土日祝日・夏休み等
9:00-15:00	「そだち」の利用等	
15:00-18:00	こどもの遊び場(無料)	
18:00-21:00	一般利用(有料)	

3. 各施設の概況

教育プラザ富樫

(5)機能のまとめ

<機能別の整理>

教職員・幼児教育・保育職員研修機能

- ・ ティーチャーサポートセンター
- ・ 学習教材ライブラリー

教育・幼児発達相談機能

- ・ 教育支援センター「そだち」
- ・ 教育相談室
- ・ 幼児相談室
- ・ 総合相談窓口
- ・ 子育て情報案内ルーム

子育て支援機能

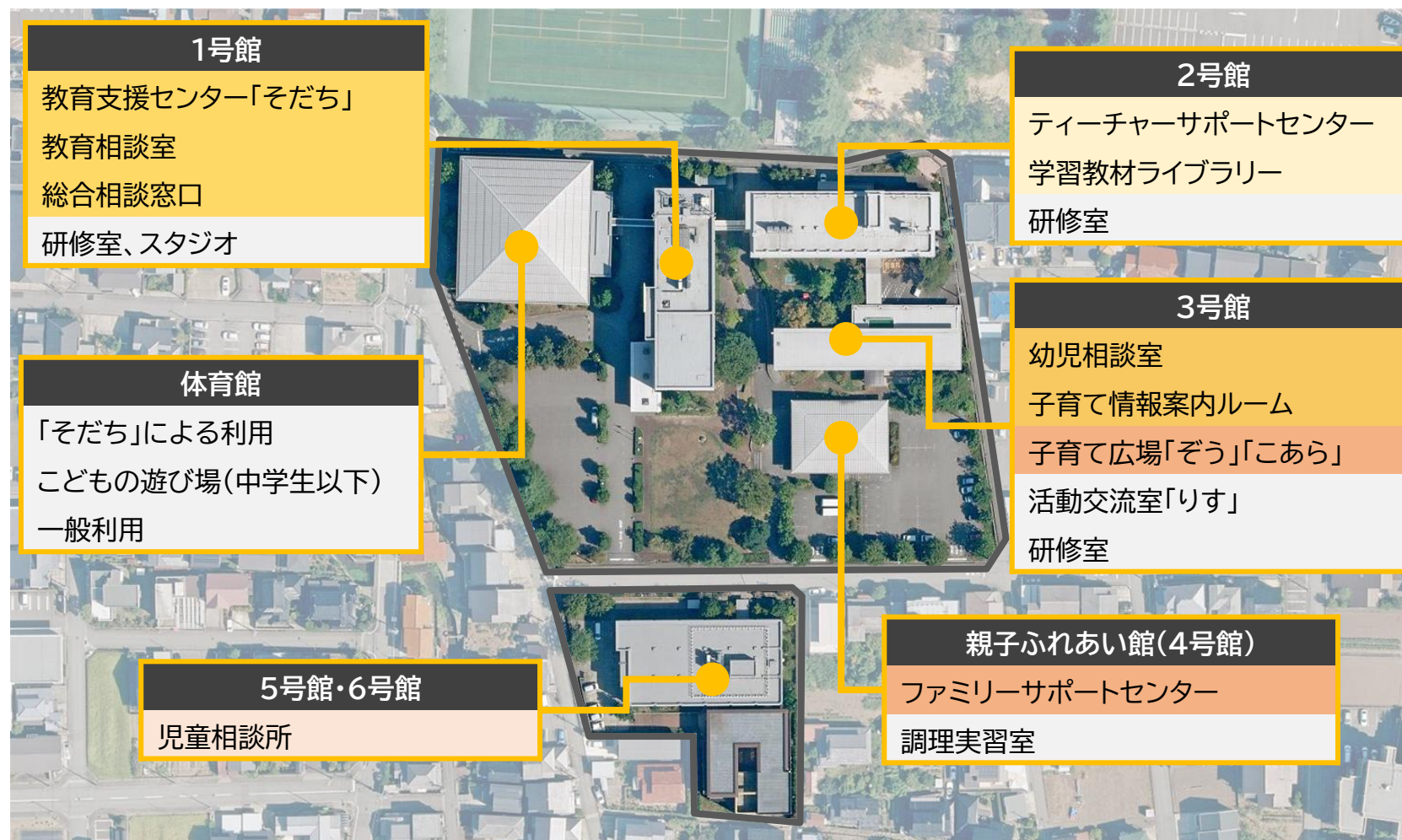
- ・ 子育て広場「ぞう」「こあら」
- ・ ファミリーサポートセンター

児童相談所機能

その他付帯機能

- ・ 研修室等
- ・ 体育館

<各機能の配置>



3. 各施設の概況

三馬小学校用地

(1) 敷地概要

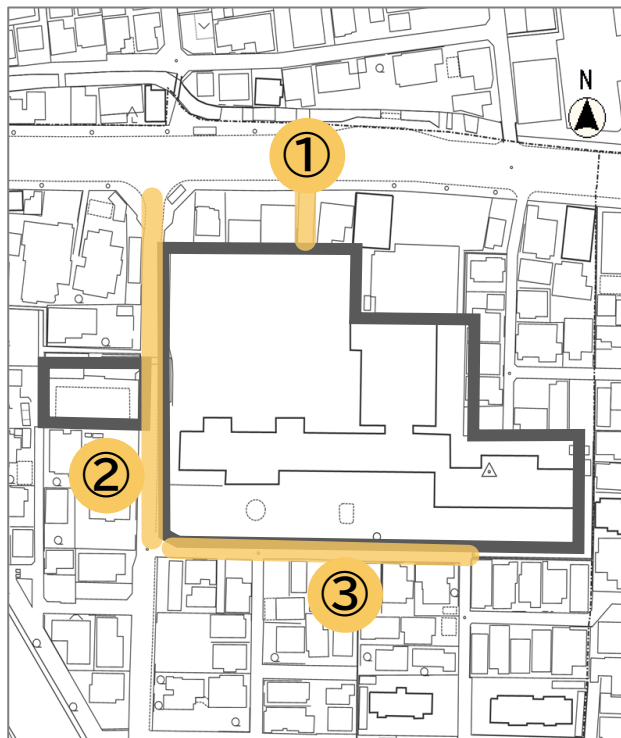


所在地	久安6丁目154番地
敷地面積	約10,300㎡ 別途プール敷地約760㎡
所管部署	教育委員会教育施設課
都市計画 関連情報	用途地域:第二種中高層住居専用地域 (建ぺい率60%、容積率200%) 高度地区:15m高度地区 防火・準防火地域:指定なし
その他の 法規制等	- 建築基準法第22条指定区域(屋根不燃化区域) - 敷地の一部に建築基準法上の日影による中高層建築物の高さ制限あり
接道状況	西側:市道準幹線557号久安・高尾線(バス路線) 南側:(一部区間)市道三馬34号久安6丁目線7号
災害等 関連情報	想定最大浸水深:0.5m以上～3.0m未満 液状化危険度:低い

3. 各施設の概況

三馬小学校用地

(2) 周辺道路環境



- 国道からの進入路(市道)は幅員約5m
- 現在はゲートで閉鎖されている。



- 西側市道はバス路線であり、交通量が多い。
- 歩道は小学校側に設置されているが、有効幅員1.0mと狭隘
- プールと校舎をつなぐ横断歩道橋が設置されている。



- 南側道路は幅員5m未満の生活道路であり、現状の交通量は少ない。
- 歩道は設置されていない。

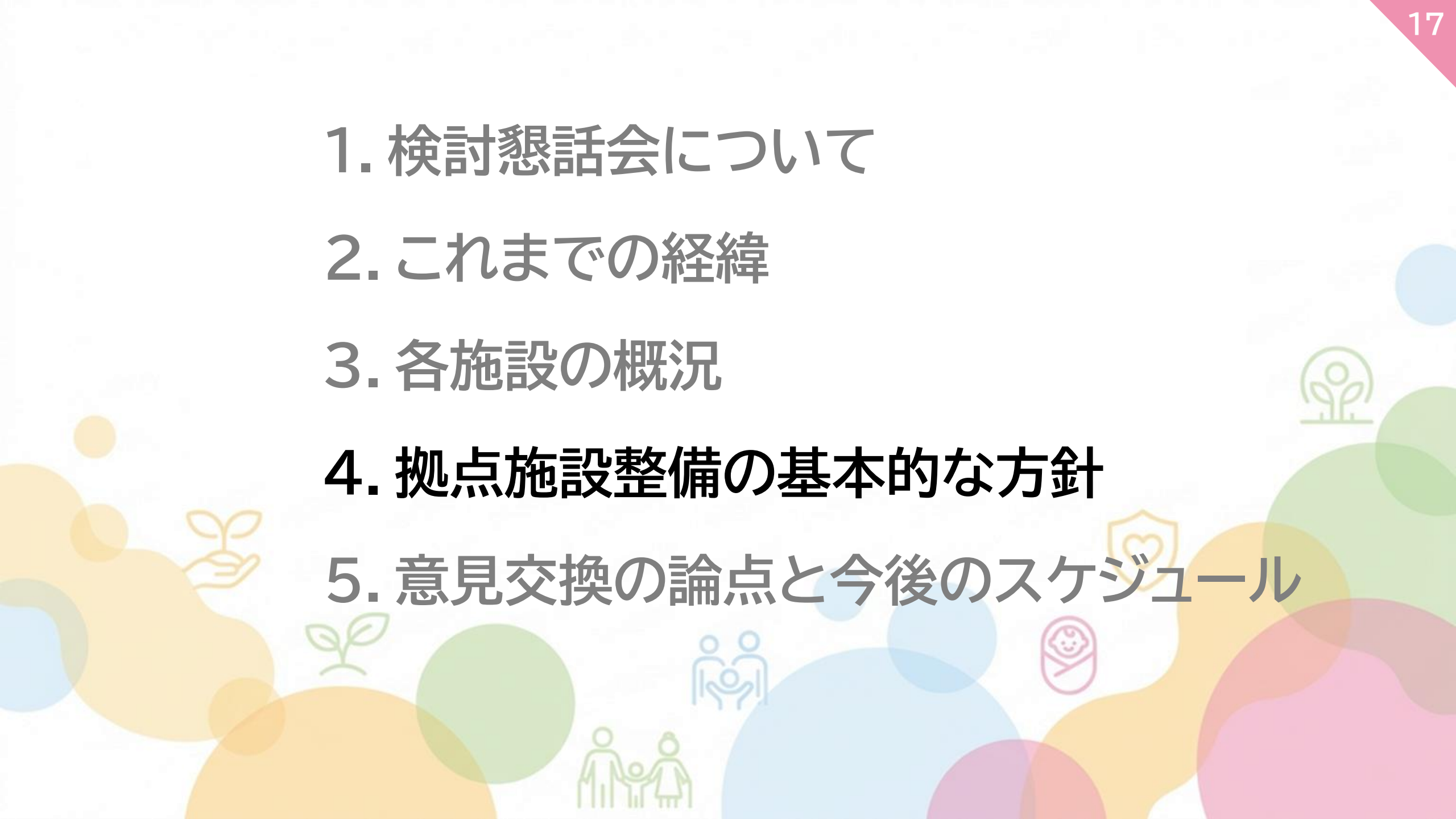
1. 検討懇話会について

2. これまでの経緯

3. 各施設の概況

4. 拠点施設整備の基本的な方針

5. 意見交換の論点と今後のスケジュール



4. 拠点施設整備の基本的な方針

南部地区教育・福祉拠点施設機能検討調査結果(令和7年度)

令和6年度基本構想で示された方向性等を踏まえ、本市の教育・福祉機能の配置状況等を整理した上で、拠点施設の整備にあたり、備えるべき機能の検討調査を実施

(1) 既存施設から移転すべき機能・施設

<三馬保育所>

老朽化や現在の立地を踏まえ、教育プラザ富樫の以下の機能と一体的に**移転整備**

<教育プラザ富樫>

- ・ 教職員・幼児教育・保育職員研修機能
- ・ 教育・幼児発達相談機能
- ・ 子育て支援機能

老朽化が著しい1～4号館に集積する上記機能は、保育所との一体的な整備により幼保小連携等の強化を図るため、**移転整備**

・ 児童相談所機能

5号館、6号館はいずれも建築年次が浅いことから、**移転せず現状のまま活用**

・ その他付帯機能

機能移転する際の規模や実現可能性を改めて検討することを前提として、

- ・ 研修室等における**こどもの健全な育成を図るための活動の場としての機能は移転整備**
- ・ 体育館における**「そだち」の利用やこどもの遊び場としての機能は移転整備**し、一般利用(地域のスポーツ団体等)としての機能は**移転せず当面は現状の施設を活用**

教育プラザ富樫

教職員・幼児教育・保育職員研修機能

- ・ ティーチャーサポートセンター
- ・ 学習教材ライブラリ、研修室 など

教育・幼児発達相談機能

- ・ 教育支援センター「そだち」
- ・ 教育相談室、幼児相談室 など

子育て支援機能

- ・ 子育て広場「ぞう」「こあら」
- ・ ファミリーサポートセンター

児童相談所機能

その他付帯機能

- ・ 研修室等
- ・ 体育館
(「そだち」の利用、こどもの遊び場、一般利用)

4. 拠点施設整備の基本的な方針

南部地区教育・福祉拠点施設機能検討調査結果(令和7年度)

(2) 移転整備にあたり検討すべき機能

移転する機能

保育機能

教職員・幼児教育・保育職員研修機能

教育・幼児発達相談機能

子育て支援機能



検討すべき機能(付加・強化)

① 一体的整備により子育て支援機能等を強化

- ・ 三馬保育所と学校教育センター及び幼児教育センターの一体的な整備により子育て支援や幼保小連携等の機能を強化
- ・ 三馬保育所と幼児教育センターとの連携を強化し、現場での実践研修を通じた人材育成など、幼児教育・保育職員の育成環境を充実

② 多世代交流機能を付加

- ・ 多様な世代の居場所づくりに資するため、こどもからお年寄りまで多世代が交流できる機能を付加

③ 防災機能を強化

- ・ 先行する三馬小学校(拠点避難所)の移転整備の内容と連動を図りながら、地域防災力を一層高めるため必要な機能を強化

④ 施設へのアクセスや歩行空間など周辺環境の機能向上

- ・ 車両のアクセス性の向上や十分な歩行空間の確保など、周辺環境の機能を向上

4. 拠点施設整備の基本的な方針

(参考)子育て支援機能と多世代交流機能を備えた施設の事例

豊明市共生交流プラザ カラット



子育て支援センター、児童発達支援センター、こどもの遊び場、子育て世代交流スペース、多目的室、ラウンジ等

延床面積:6,485㎡



出典:豊明市HP、豊明市共生交流プラザカラットHP

戸田市新曽南多世代交流館 さくらパル



プレイルーム、図書コーナー、多目的室、ラウンジ、市民ギャラリー等

延床面積:1,561㎡



出典:戸田市HP、戸田市新曽南多世代交流館さくらパルHP

京都市交流促進・まちづくりプラザ



親子の遊び場、ライブラリー、多目的室、カフェ

延床面積:811㎡



出典:京都市HP、京都市交流促進・まちづくりプラザHP

1. 検討懇話会について
2. これまでの経緯
3. 各施設の概況
4. 拠点施設整備の基本的な方針
- 5. 意見交換の論点と今後のスケジュール**



5. 意見交換の論点と今後のスケジュール

第1回会議における意見交換の論点

<議論の前提となる考え方>

- 教育プラザ富樫がこれまで担ってきた研修機能やこどもに関する相談機能を施設の基幹とし、三馬保育所が持つ保育機能との一体的整備により、これらをさらに強化
- 加えて、人口減少や生活様式の多様化等社会情勢の変化に対応し、子育て支援機能の強化や多世代交流機能など、新たな価値を付加

<上記を踏まえた意見交換の論点>

- 拠点施設の整備コンセプト
 - ー施設の基本理念や求められる役割 など
- 子育て支援機能や多世代交流機能等の内容
 - ー新たに付加・強化する機能の考え方や想定される活動、必要な空間 など
- 拠点施設の施設規模や施設配置
 - ー各機能の規模(面積)や利用者の特性を踏まえた施設の配置 など
- その他、各施設の現状等に関する補足事項など

5. 意見交換の論点と今後のスケジュール

今後のスケジュール

第1回会議(本日)	各施設の概況と基本的な方針の整理
-----------	------------------

第2回会議(秋頃)	基本構想骨子(案)
-----------	-----------

第3回会議(冬頃)	基本構想(案)とりまとめ
-----------	--------------

年度内	基本構想策定
-----	--------
